

ドクター和の
ニッポン



臨終回巻

「よく笑えた日は佳い1日だ。これは、北海道の人気ラジオパーソナリティーだった日高悟郎さんが、生前よく口にしていた言葉だそうです。

うだ、患者さんに明日も笑って過ごしてもらうために、私も町医者を続けているのだ、と改めて気づかされました。

毎週土曜朝の8時から夕方5時までのラジオ番組を35年間も続け、札幌市民に愛された日高さんは、もう一つよく口にしていました。74歳でした。

「マイクの前で死にたい」。日高さんが亡くなられたのは4月3日のこと。脂肪肉腫だったといいます。74歳でした。初めてこの番組を休んだのは、この2月。病名は明かさ

長尾和宏（ながお・かずひろ） 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

ず、札幌市内の病院で入退院を繰り返しながら仕事を続けました。3月下旬、最後のラジオ出演の際は、「腹水を抜くために入院します」とだけ話した状態まで病気の公表を避けたのでしょう。かなり進行した状態なので、かなり進行した状態まで病気の公表を避けたのでしょう。

「脂肪肉腫」を初めて聞かれた方もいるでしょう。そもそも

肉腫は悪性腫瘍全体の1%に過ぎません。さらに発生部位もさまざまなので、診断や治療が

「がん」と比べて難しい場合があります。 日高さんが

なった脂肪肉腫も、体中のどの臓器にも

発生する可能性があります。ほとんど痛みはない、大きくなつた

も、「肉腫」と「がん」の違いとはいか? 肉腫とは全身の骨や、脂肪・筋肉・神経（軟部組織といいます）にできた悪性腫瘍のことです。英語ではサルコーマといいます。これに対し、肺、乳房、胃、大腸、子宮等、上皮細胞といふ組織から発生した悪性腫瘍を「がん」と呼びます。また、血液をつくる骨髄から発生した悪性腫瘍は白血病、悪性リンパ腫、骨髄腫などと呼ばれます。

詳しいことはわかりません

が、もしかしたら日高さんも瘤

が相当大きくなつた状態で初めて病院に行ったのかもしれません

まな症状が現れてきます。

16歳で役者デビューした日高さん。若い頃は日々、食べるものにも困るほど、不遇の時代が続いたようです。それでも続けられたのは、「何があつても笑う」というエネルギーに変えてや

らめたとか。ギリギリまで仕事を続けられた理由はここにある

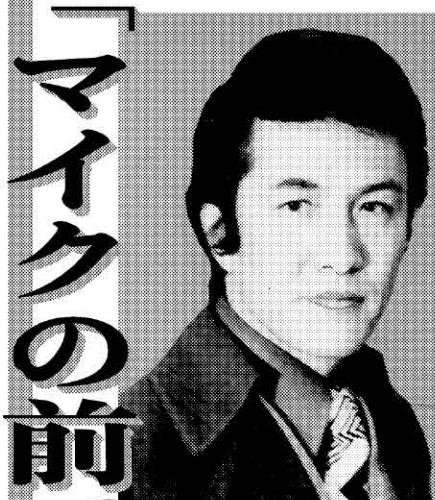
でしょう。そして、「マイクの前で死にたい」という日高さんのリビング・ワイル（生前の遺言）は、ほ

ぼ叶ったも同然の旅立ちだったと思います。

50

人気ラジオパーソナリティー

日高悟郎



マイクの前で死にたい